

事務 事業名	コード1	33600	消防団施設等管理費	課	消防本部総務課			
	コード2			所属班	消防団班			
			☐ 主要事業	電話番号	63-5355	内線		
政策 体系	基本方針	1	安全で魅力のあるまちづくり	予算	会計		款	項
	施策	4	消防・防災対策	科目	一般会計		9	1
	施策の展開	1	消防・防災体制の充実	根拠	消防組織法、消防力の整備指針			
	基本事業	45	分署・消防車両・消防庫の整備	法令				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	消防団員の使用する消防団車両の車検整備及び消防庫の補修等 消防団車両: 水槽付消防ポンプ自動車7台②消防ポンプ自動車12台③小型動力ポンプ積載車31台(内予備車1台)④団本部車1台(軽ワンボックス) 消防庫: 49棟(旭: 20棟、海上9棟、飯岡: 9棟、干潟: 11棟) 【業務の流れ】 消防車両の維持管理及び、15年経過し老朽化した消防団庫の補修

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(24年度の実績)	単位: 千円
燃料費	1,006 消防車燃料
修繕料	6,881 車検整備、消防庫維持補修費
役務費	2,761 車検代行手数料、保険料
公課費	999 自動車重量税
5.その他	74
H24需用費増: 消防車、消防庫の予定外事故修繕2件及び小規模修繕の増によるもの	
② 延べ業務時間の内訳(24年度の実績)	単位: 時間
建物の状況調査、業者へ説明、見積依頼、起案、工事状況確認、完成検査	

事業費	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
1. 需用費	千円	6,998	6,944	7,988	9,672
2. 役務費	千円	2,428	2,161	2,761	4,707
3. 委託料	千円	1,650	1,530	1,470	980
4. 公課費	千円	1,256	920	999	1,100
5. その他	千円	145	0	74	775
事業費計(A)	千円	12,477	11,555	13,292	17,234
うち一般財源	千円	12,477	11,555	13,292	17,234
人件費					
正規職員従事人数	人	0.02	0.02	0.02	0.02
延べ業務時間	時間	40	40	40	40
人件費計(B)	千円	152	152	152	152
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,629	11,707	13,444	17,386

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	24年度実績(24年度に行った主な活動) 消防団車両24台の車検 消防庫補修工事2棟 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 消防団車両27台の車検 消防庫補修工事3棟	ア 消防団車両の車検	台	31	21	24	27
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	イ 消防庫の補修工事	棟	2	2	2	3
	消防団員の使用する消防車両及び消防団庫	ウ					
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
	良好な状態を保ち、非常時において万全な消防団活動ができる。	ア 消防団車両の故障件数 (車両運行安全が確保された。)	件	39	35	34	
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ 予定していなかった緊急の補修工事 (即時対応力が保持された。)	件	12	12	17	
	地域住民の安全安心の確保	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)
上位目的		ア 火災による被害額 (出動、警戒の迅速対応が確保された。)	千円	95,880	118,869	88,560	
		イ					

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
団員から消防庫建物の雨漏り、外壁の剥離、損壊等及び消防車の電気系統トラブル、車体の機装部腐食等の報告があったことと、更新延長に対処するため。	消防庫の工事費(原材料の高騰)が上がっている。 消防団車両の更新年数の延長。	施設が改修され、団活動の意欲が高まった。

事務事業名	消防団施設等管理費	課名	消防本部総務課	班名	消防団班
-------	-----------	----	---------	----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 消防団の使用する消防車両及び消防庫を適正に維持管理することで、防災力が維持され、市民生活の安全安心に繋がる。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 市で管理する消防団の使用する消防車両、消防庫すべてについて、非常時において万全な消防団活動が行えるよう管理することを目的としているので。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 消防団の管理は、消防組織法・消防力の整備指針により市町村が整備するものと規定されているので。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 消防庫全体の老朽化が進んでおり、15年経過した消防庫のなかには補修が未実施のものがあり、早急に補修を進める必要がある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとうか？	☒ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 一会計年度における消防庫の補修棟数を増やすことができれば、より早く補修の必要な消防庫の補修を完了することができる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(消防庫整備事業、消防団車両整備事業) (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☒ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 消防車両、消防庫ともに整備計画に基づき、合併後の最終的な団編成を考慮しながら、必要に応じて更新や改築、補修などを実施している。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 (表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 初期の段階で補修工事を行う。
	⑧ 人件費の削減余地 (表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 業務時間は非常に少なく、これ以上の削減は見込めない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 消防団の使用する全ての消防車両や消防庫について、合併後の最終的な団編成を考慮しながら、必要に応じて更新や改築、補修などを実施しており、公平である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 地域の防災拠点である消防団施設の維持管理が保たれた。
--	---

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☒ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業:) ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①担当課による施設の目視点検を定期的に行う。(平成25年度から) ②定期的に使用者である団員からの聞き取り調査を行う。(平成25年度から)																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市の財政状況により、消防車両、消防庫とも耐用年数経過後すぐの更新は困難であるため、長寿命化の措置が必要。(国県補助制度の有効活用。財政課との協議。)																								